



# 港区立中之町幼稚園 5月 園だより

教  
育  
目  
標

- げんきな子
- かんがえる子
- なかよくする子
- がんばる子



令和4年4月28日

港区立中之町幼稚園

園長 大橋 美都子

<http://nakanochō-kgminato-kyed.jp/>

子どもの安全基地に

園長 大橋 美都子

園庭のたくさんの花々に、モンシロチョウやアゲハチョウが飛んでくるようになりました。子どもたちは、ダンゴムシやアリ、アオムシ探しなどにも興味を示しています。

新年度が始まり3週間がたちました。新しい環境での生活に少しずつ少しずつ慣れてるのが目に見えて分かります。太陽組は、登園時におうちの人と離れがたい様子も見られましたが、少しずつお気に入りのものや遊び、場所ができてつあります。地球組は、目の前の園庭を独占できる時間もあり、保育室と園庭でのびのびと遊んでいます。宇宙組は、階段を軽やかに上って2階での生活。遊戯室での遊びも加わり、1組2組が混ざり合っています。

さて、先日スーパーでこのような光景を目にしました。子どもは何かを買ってほしくて駄々をこねている…親は半分キレたように怒鳴る…子どもは激しく泣く…誰しも経験があると思います。子どもが生活の中で思うようにいかず、すねたり、何か不安に思って泣いたり、やることを嫌がったりする、このような時どう対応すべきか迷いますよね。親としてはつい「なんでこんなところで…恥ずかしいよ！」

「どうしてみんなと同じようにできないの?」「ちゃんと先生のいうことをききなさい!」などと言ってしまいたくなると思います。でも、まずやっていただきたいのは、子どもの気持ちに沿ってほしいのです。「そうか、そうか、嫌なんだね…」「\*\*したかったのね」などとまずは子どもの気持ちを受け止めてやってください。そうすれば子どもは、「この人はどんなに困ったときも、不安なときも気持ちを受け入れてくれる、分かってくれる、安心できる人だ」と感じます。その安心する安全基地に戻り、癒されることで、また少し冒険したり、挑戦したりできるのです。そして、その積み重ねで自立へと向かっていきます。保護者の皆様にはぜひ、子どもたちの安心する安全基地になってほしいと思っています。

引き続き感染防止対策を講じながら、元気で楽しい連休をお過ごしください。



各学年のこのいぼりか泳いでいます。



工事中的新園舎。テラスはウッドデッキ調。靴箱も設置されました。完成間近!